

第3回 産学官CIM・GISセミナーのご案内

～社会インフラのスマート・エイジングに向けたCIMと維持管理の取組み～

CIM(Construction Information Modeling/Management)はBIMをベースに国土交通省によって提唱されました。CIMは土木プロジェクトに関与する各種プレイヤーが、3次元モデルデータを共有しながら、GISや3次元CADなど各種ICTを統合的に利用して調査、計画、設計、施工、維持管理を進めていく手法です。

CIMの推進に向けて去る6月10日札幌アスペンホテルにて「社会インフラのスマート・エイジングに向けたCIMとライフサイクル管理の取組み」と題して第2回産学官CIM・GISセミナーが開催され、道内外から130名程の皆様が参加され、社会インフラの建設事業プロセスを変えるだけでなく、既設インフラのマネジメントの在り方を大きく変えるものとしてCIMの役割が確認されました。7月3日には、「産学官CIM・GIS研究会」を発足し道内の研究者・企業関係者、官公庁の皆様のCIMに関する理解を深めるとともに道路、橋梁、河川、港湾などの各種インフラの設計、施工、維持管理においてCIMの導入における課題解決に向けて活動を展開しております。そこで、この度研究会の座長でもある北海道大学工学研究院の横田弘氏を始め、産学官それぞれの立場から、社会インフラの維持管理の手法とCIMの取組みについて伺う運びとなりました。是非、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日 時】平成26年10月9日(木) 13:30～17:00

【会 場】(株)岩崎 5F 大会議室

〒060-0034 北海道札幌市中央区北4条東2丁目1番地

【プログラム】

13:30～14:20

基調講演 「社会基盤施設の維持管理に関する施策と研究の動向」

北海道大学工学研究院北方圏環境政策工学部門教授 横田 弘氏

14:20～14:50

講演 「北海道開発局におけるCIMの取組み」

北海道開発局事業振興部技術管理課技術管理企画官 遠藤 達哉氏

14:50～15:10 休憩

15:10～15:50

講演 「非接触レーザー加振・振動計測に基づく構造のヘルスマニタリング」

北海道大学工学研究院人間機械システムデザイン部門教授 梶原 逸朗氏

15:50～16:30

講演 「スマートエイジングを見据えたCIM活用事例と技術開発の取組み」

(株)岩崎企画調査部 企画開発グループ新技術チーム 進藤 康裕氏

16:30～17:00 質疑応答

◆参加費：一般 3,000円

産学官フォーラム、北海道GIS・GPS研究会、Digital北海道研究会 会員 2,000円

産学官CIM・GIS研究会会員、官公庁 1000円

(定員 55名、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◆参加費振込先：北洋銀行 北7条支店 (普) 4034121 産学官CIM・GIS研究会 宛

◆主 催：産学官CIM・GIS研究会

◆共 催：北海道産学官研究フォーラム、北海道GIS・GPS研究会、NPO法人Digital北海道研究会

◆後援依頼：国土交通省国土地理院北海道地方測量部、建設コンサルタント協会北海道支部、GIS学会北海道支部
土木学会北海道支部、写真測量学会北海道支部、北海道GIS技術研究会、CUG北海道分会

◆連絡先：産学官CIM・GIS研究会 (担当 藤原)

〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目 2-7-105

TEL 011-787-7650 FAX 011-312-7557 E-mail: tatsuya.fujiwara@gmail.com

参加申込書

申込み先：産学官 CIM・GIS 研究会 事務局：(担当：藤原)

FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

FAX : 011-312-7557

E-mailにてお申込みの場合は、必要事項を記入して送信してください。

E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com

電話にてお申込みの場合は、下記番号におかけ下さい。

TEL : 011-787-7650

2014年10月9日(木)の「第3回産学官 CIM・GIS セミナー」に参加します。

所属(会社)名	役職名	氏名

申込み期限：2014年10月7日(火)

【ご担当者】

所 属：_____

ご担当者：_____

住所 _____

Tel: _____

E-mail: _____

注1 ・E-mail アドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注2 ・情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。